

2008年(平成20年)2月14日 木曜日

新興国から観光客を

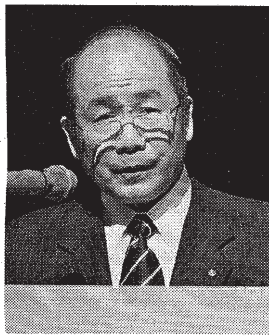
ホテルオークラ 岡山 皆木社長が講演

おかやま適塾

地元で活躍する著名人の講演を通し、郷土の未来を考える「第二十一回おかやま適塾」が十三日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールで開かれ、ホテルオークラ岡山(同市門田本町)の皆木

依耿社長が「ホテル産業の動向と経済効果」と題して話した。皆木社長は国内を訪れる外国人観光客が二〇〇七年は八百万人を超えたことに触れ、「四分の三をアジア地域が占め、中でも経済発展が続く中国やインドから増えている」と説明した。その上で「中国など新興国の富裕層をいかに呼び込めるかが今後の岡山

の観光産業の鍵を握る。ホテル側もスイートルームを増やすなど、受け入れ態勢を整える必要がある」と話した。



講演するホテルオークラ岡山の皆木社長

おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日、産学官の幅広い分野から講師を招いて行っている。(大河原三恵)